

東京海洋大学 教職課程自己点検・評価報告書

大項目NO	大項目	詳細NO	中項目	観点	点検結果 (A, B, C※で表示) ※評価基準 A:適切に対応出来ている B:一部改善を要する C:改善を要する	点検結果がBまたはCの場合、その理由	点検結果がBまたはCの場合の改善計画	その他特記事項	根拠資料	備考
①	教育理念・学修目標	①-1	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画の策定状況	具体的かつ明確な形で設定されているか等	A				①-1 教員養成に対する理念構想等 (大学HP)	
		①-2	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画の策定プロセス	学生や採用権者の意見の考慮、所在する都道府県・政令指定都市教育委員会の策定する教員育成指標との関係性の考慮が行われているか等	A				①-2 学生による授業評価 (大学HP)	
		①-3	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画の見直しの状況	一人一人の学生が教職課程での学修を通じて得た自らの学びの成果 (以下「学修成果」という。)や自己点検・評価の結果、社会情勢や教育環境の変化等を踏まえた適切な見直しが行われているか等	A				①-3 教員グループFD活動報告書	
②	授業科目・教育課程の編成実施	②-1	複数の教職課程を通じた授業科目の共通開設など全学的な教育課程の編成状況	複数の教職課程間における授業科目の共通開設は、開設に責任を負う学科等の強み・特色を生かしつつ適切に行われているか等	A				②-1 カリキュラムマップ (大学HP)	
		②-2	教職課程の授業科目の実施に必要な施設・設備の整備状況	I C T (情報通信技術) 環境 (オンライン授業含む)、模擬授業用の教室、関連する図書など、教職課程の授業科目の実施に必要な施設・設備が整備されているか等	A				②-2 ラーニングcommons/研究個室 利用案内 (大学附属図書館HP)	
		②-3	教育課程の体系性	法令及び教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と対応し必要な授業科目が開設され適切な役割分担が図られているか、教職課程以外の科目との関連性が適切に確保されているか等	A				(再掲) ②-1 カリキュラムマップ (大学HP) ②-3-1 海洋生命科学部履修ガイド ②-3-2 海洋資源環境学部履修ガイド ②-3-3 海洋工学部履修ガイド ②-3-4 東京海洋大学専攻科規則 ②-3-5 大学院履修要覧 ②-3-6 学部・専攻科・大学院シラバス ②-3-7 東京海洋大学ナンバリングマニュアル	
		②-4	I C T の活用指導力など、各科目を横断する重要な事項についての教育課程の体系性	例えば、教員として身につけることが必要な I C T 活用指導力の全体像に対応して各科目間の役割分担が適切に図られているか、到達目標や学修量が適切な水準となっているか等	A				(再掲) ②-1 カリキュラムマップ (大学HP) (再掲) ②-3-1 海洋生命科学部履修ガイド (再掲) ②-3-2 海洋資源環境学部履修ガイド (再掲) ②-3-3 海洋工学部履修ガイド (再掲) ②-3-5 大学院履修要覧 (再掲) ②-3-6 学部・専攻科・大学院シラバス	
		②-5	いわゆるキャップ制の設定状況	1単位あたりの学修時間を確保する上で有効に機能しているか等	A				②-5-1 東京海洋大学海洋生命科学部履修規則第9条 ②-5-2 東京海洋大学海洋資源環境学部履修規則第9条 ②-5-3 東京海洋大学海洋工学部履修規則第10条	水産教員養成課程の学生から「履修登録上限のため専門科目の履修が制限され希望する科目が履修できない」との意見が寄せられている。教職課程小委員会にて検討の結果、学習時間確保の必要性を原則としつつ、履修登録上限のあり方について引き続き対応を検討することとした。
		②-6	教育課程の充実・見直しの状況	学修成果や自己点検・評価の結果等を踏まえて充実が図られ、適切な見直しが行われているか等	A				(再掲) ①-3 教員グループFD活動報告書	
		②-7	個々の授業科目の到達目標の設定状況	法令、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画、学習指導要領及び教職課程コアカリキュラムへの対応が図られているか等	A				(再掲) ②-3-6 学部・専攻科・大学院シラバス ②-7-1 教職課程コアカリキュラム対応表 各教科の指導法 (中・高) ②-7-2 教職課程コアカリキュラム対応表 教育の基礎的理解等	

		②-8	シラバスの作成状況	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と授業科目との関係、授業科目の目的と到達目標、内容と方法、計画、成績評価基準、事前学修と事後学修の内容等が明確に記載されているか 等	A				(再掲) ②-3-6 学部・専攻科・大学院シラバス ②-8 JABEE認定に基づくシラバスの書き方	
		②-9	アクティブ・ラーニングやICTの活用など新たな手法の導入状況	授業科目の到達目標に応じ、少人数のアクティブ・ラーニングやICTを活用した新たな手法を導入し、「考える」「話す」「行動する」などの多様な学びをもたらす工夫が行われているか 等	A				(再掲) ②-3-6 学部・専攻科・大学院シラバス	
		②-10	個々の授業科目の見直しの状況	学修成果や自己点検・評価の結果等を踏まえて充実が図られ、適切な見直しが行われているか 等	A				(再掲) ①-3 教員グループFD活動報告書	
		②-11	教職実践演習及び教育実習等の実施状況	教職課程において特に重要な役割を果たす教職実践演習、教育実習(学校体験活動含む)は、事前指導・事後指導を含め、大学の主体的な関与の下で適切に行われているか 等	A				②-11-1 教職実践演習シラバス ②-11-2 教育実習Ⅰ・Ⅱシラバス ②-11-3 教育実習指導シラバス ②-11-4 教育実習事前説明会資料	
③	学修成果の把握・可視化	③-1	成績評価に関する全学的な基準の策定・公表の状況	成績評価基準に基づく評語と授業科目ごとに定められている到達目標の達成水準との関係等が明らかにされているか 等	A				(再掲) ②-3-1 海洋生命科学部履修ガイド (再掲) ②-3-2 海洋資源環境学部履修ガイド (再掲) ②-3-3 海洋工学部履修ガイド (再掲) ②-3-4 東京海洋大学専攻科規則 (再掲) ②-3-5 大学院履修要覧 (再掲) ②-3-6 学部・専攻科・大学院シラバス ③-1-1 東京海洋大学海洋生命科学部履修規則第16条 ③-1-2 東京海洋大学海洋資源環境学部履修規則第16条 ③-1-3 東京海洋大学海洋工学部履修規則第16条 ③-1-4 東京海洋大学大学院履修規則第9条の3	
		③-2	成績評価に関する共通理解の構築	同一名称の授業科目を複数の教員が担当して開講している場合に成績評価の平準化を図ることができているか 等	A				(再掲) ①-3 教員グループFD活動報告書 (再掲) ②-3-6 学部・専攻科・大学院シラバス	
		③-3	教員の養成の目標の達成状況(学修成果)を明らかにするための情報の設定及び達成状況	教員の養成の目標の達成状況を明らかにするための情報が適切に設定されており、それがどの程度達成されているか、教職実践演習に向けた「履修カルテ」を適切に活用できているか 等	A				(再掲) ②-11-1 教職実践演習シラバス (再掲) ②-11-2 教育実習Ⅰ・Ⅱシラバス (再掲) ②-11-3 教育実習指導シラバス ③-3 教職履修カルテ(海洋生命科学部、海洋資源環境学部、海洋工学部)	
		③-4	成績評価の状況	各授業科目の到達目標に照らしてできるだけ定量的又は定性的に達成水準を明らかにし、厳格に点数・評語に反映することができているか、公正で透明な成績評価という観点から達成水準を測定する手法やその配点基準があらかじめ明確になっているか 等	A				(再掲) ②-3-6 学部・専攻科・大学院シラバス (再掲) ③-1-1 東京海洋大学海洋生命科学部履修規則第16条 (再掲) ③-1-2 東京海洋大学海洋資源環境学部履修規則第16条 (再掲) ③-1-3 東京海洋大学海洋工学部履修規則第16条 (再掲) ③-1-5 東京海洋大学大学院履修規則第9条の3	
④	教職員組織	④-1	教員の配置の状況	教職課程認定基準(平成13年7月19日教員養成部会決定)で定められた必要専任教員数を充足しているか 等	A				④-1-1 課程認定申請書類(海洋生命科学部) ④-1-2 課程認定申請書類(海洋資源環境学部) ④-1-3 課程認定申請書類(海洋工学部) ④-1-4 課程認定申請書類(専攻科) ④-1-5 課程認定申請書類(大学院)	
		④-2	教員の業績等	担当授業科目に関する研究実績の状況、担当教員の学校現場等での実務経験の状況 等	A				④-2 課程認定申請書類(教育研究業績書抜粋)	
		④-3	職員の配置状況	教職課程を適切に実施するため、事務組織を設け、必要な職員数を配置できているか 等	A				④-3 役員・職員数(大学HP)	
		④-4	FD・SDの実施状況	いわゆる教科専門の授業科目を担当する教員や実務家教員も含め、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画への理解をはじめ教職課程を担う教員として望ましい資質・能力を身に付けさせるためのFD・SDが確実に実施されているか、適切な内容が実施できているか、実際に参加が確保できているか等	A				(再掲) ①-3 教員グループFD活動報告書 ④-4 FD研修について	

		④-5	授業評価アンケートの実施状況	個々の授業科目の見直しに繋がるFDの機会を活用できるように、効果的な授業評価アンケートの作成・実施が行えているか等	A				(再掲) ①-2 学生による授業評価 (大学HP)	
⑤	情報公表	⑤-1	学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第172条の2のうち関連部分、教育職員免許法施行規則第22条の6に定められた情報公表の状況	法令に定められた情報公表が学外者にもわかりやすく適切に行っているか等	A				⑤-1-1 学校教育法施行規則第172条の2に基づく公表事項 (大学HP) ⑤-1-2 教育職員免許法施行規則第22条の6に基づく公表事項 (大学HP)	
		⑤-2	学修成果に関する情報公表の状況	大学が必要な資質・能力を備えた学生を育成できているかどうかを、エビデンスとともに説明できているか等	A				(再掲) ⑤-1-2 教育職員免許法施行規則第22条の6に基づく公表事項 (大学HP)	
		⑤-3	教職課程の自己点検・評価に関する情報公表の状況	根拠となる資料やデータ等を示しつつ、わかりやすい自己点検・評価の評価書を公表することができているか	-			教職課程の自己点検・評価は令和5年度が初年度のため、本項目は点検評価を行わない。	-	
⑥	教職指導(学生の受け入れ・学生支援)	⑥-1	教職課程を履修する学生の確保に向けた取組の状況	教職課程に関する積極的な情報提供の実施ができているか、教員の養成の目標に照らして適切に学生を受け入れているか等	A				⑥-1-1 令和4年度大学概要 学生定員・現員 ⑥-1-2 令和4年度大学概要 入学状況 ⑥-1-3 取得可能資格・教育職員免許 (大学HP) ⑥-1-4 品川地区1年次向け教職ガイダンス資料 ⑥-1-5 海洋工学部教職課程ガイダンス資料	
		⑥-2	学生に対する履修指導の実施状況	必要な体制や施設・設備を整えた上で、個々の学生の教職に対する意欲を踏まえつつ、学生に教職課程の履修に当たって学修意欲を喚起するような適切な履修指導が行えているか、「履修カルテ」を適切に活用できているか等	A				(再掲) ②-11-1 教職実践演習シラバス (再掲) ③-3 教職履修カルテ (海洋生命科学部、海洋資源環境学部) (再掲) ⑥-1-4 品川地区1年次向け教職ガイダンス資料	
		⑥-3	学生に対する進路指導の実施状況	学生に教職への入職に関する情報を適切に提供するなど、学生のニーズに応じたキャリア支援体制が適切に構築されているか等	A				(再掲) ⑥-1-4 品川地区1年次向け教職ガイダンス資料 ⑥-3-1 品川地区教員免許状大学一括申請説明会資料 ⑥-3-2 令和4年度海洋工学部教員採用試験実施要項等の発表状況	
⑦	関係機関等との連携	⑦-1	教育委員会や各学校法人との連携・交流等の状況	教員の採用を担う教育委員会や各学校法人と適切に連携・交流を図り、地域の教育課題や教員育成指標を踏まえた教育課程の充実や、学生への指導の充実につなげることができているか等	A				(再掲) ①-3 教員グループFD活動報告書 ⑦-1-1 令和4年度大学概要 高大連携 連携校一覧 ⑦-1-2 令和4年度品川地区教育実習生一覧 ⑦-1-3 令和4年度海洋工学部教育実習実施計画	
		⑦-2	教育実習等を実施する学校との連携・協力の状況	教育実習を実施する学校と適切に連携・協力を図り、実習の適切な実施につなげることができているか等	A				(再掲) ①-3 教員グループFD活動報告書 (再掲) ⑦-1-1 令和4年度大学概要 高大連携 連携校一覧 (再掲) ⑦-1-2 令和4年度品川地区教育実習生一覧 (再掲) ⑦-1-3 令和4年度海洋工学部教育実習実施計画 ⑦-2 令和4年度海洋工学部教職実践演習 (高等学校) 実地調査報告	
		⑦-3	学外の多様な人材の活用状況	学外の諸機関との連携の下、教育課程を充実するために学外の多様な人材を実務経験のある教員又はゲストスピーカー等として活用することができているか等	A				(再掲) ②-3-6 学部・専攻科・大学院シラバス ⑦-3 実務経験のある教員等による授業科目の一覧	